

国語世論調査

文化庁は毎年全国の16歳以上の男女を対象に「国語に関する世論調査」を実施しています。その中からいくつか取り上げてみます。国語や言葉への関心では、「関心がある」が7割台半、日本語を大切にしているかでは、「大切にしている」が6割台半、書き言葉や話し言葉の使い方はどうあるべきかでは、「正しく整えて使うべきだ」が平成20年度調査より14ポイント増加しています。選択式の意味を問う調査では、「檄（げき）を飛ばす」では、「元気のよい者に刺激を与えて活気づけること」と答えた人が67・4%、本来の「自分の主張や

考えを、広く人々に知らせて同意を求めるとした人は22・1%でした。「借金をなし崩しにする」「なし崩し」では、「なかつたことにする」と答えた人が65・6%、本来の「少しずつ返していく」と答えられた人は19・5%でした。慣用句では、チームや部署に指図を与え指揮することや「采配を振るう」と答えた人が56・9%、本来の「采配を振る」と答えられた人は32・2%でした。言葉は生きものです。言葉には言葉というエネルギーが宿っています。間違っただけで言葉を使わないように常に辞書を手元に置いて確認すること、正しい言葉遣いを心掛けること、美しい適切な日本語表現のできることを目指したいものです。

◎今月の言葉

常に努力している人は、夢と希望を語り、常に怠けている人は、不平と不満を語る。

○語彙力チェック

①「小紋」とはどのようなものに用いられているか。

A 和服地 B 帯 C 腹巻き

②「孤立無援」と同義の語はどれか。

A 暗中模索 B 四面楚歌 C 会者定離

③「五里口中」の口に正しい語を入れよ。

A 霧 B 夢 C 無

④「凝る」の用法として適当でないものはどれか。

A 仕事の後、どうも肩が凝る。

B 彼は今、車に凝っている。

C 勉強は、将来きつと凝る。

⑤「コロンブスの卵」の意味として、適当なものはどれか。

A 何事も最初に行うのは難しい。

B 何事も努力が一番大切である。

C 着想力が成功につながる。

（解答）① A ② B ③ A ④ C ⑤ A